

Investment Commentary

(米国市場に関するコメント)

February 8, 2010

ご参考資料

先週の米国株式は、週初には広範囲に亘って上昇したものの、週後半はこの上昇分を全て帳消しにした格好となりました。ダウ工業30種は0.55%下落の10,012ドル、S&P500指数は0.72%下落の1,066ポイント、ナスダック総合株価指数は0.29%下落の2,141ポイントでそれぞれ引けました。

力強い決算発表が続いている中、S&P500指数は今のところ2四半期連続でおよそ10%もの目立った下落となっています。最近の調整の理由としては、中国における経済成長を抑制するための金融引き締めや、ギリシャのクレジット問題、米国での金融バッシングの動き、強弱入り混じった経済指標、などが挙げられます。また企業収益の観点では、“理想買いの現実売り”といったよく見受けられる投資行動が見られます。株式市場というのは明らかに不透明感を嫌う傾向があるので、我々は米国や海外における経済政策の不透明感がダウンサイド・リスクを生み出していると考えています。国内の不透明感、増税や、銀行を取り巻く規制の強化、さらにヘルスケアのコストなどの行方に集中しています。一方、グローバルな懸念としては、アジアにおける金融引き締めの動きや、とりわけ欧州におけるソブリン債のクレジット・リスクに伴う悪影響の可能性が挙げられます。

以上のような話題に隠れてあまり目立たなかったのが、堅調な企業収益と売上高の増加です。これまで決算発表を行った企業の4分の3は予想を上回る売上高と収益を計上しています。コスト削減が順調に進んでいることに伴い、景気が持続的回復の軌道に乗りつつあると我々は考えています。企業収益の大幅な伸びは、景況感の活性化に繋がるとともに、設備投資の実質的な増加を引き起こすでしょう。こうした動向の全てが雇用環境改善の見込みを高めると考えています。

先週金曜日に発表された雇用統計では、1月の雇用者数が20,000人の減少となりました。なお、失業率は10%から9.7%に低下しました。我々は引き続き、非農業部門の雇用者数の伸びがいずれ近いうちに持続的なプラスに転じると予想しています。売上高の目覚ましい伸びは労働需要の牽引役となるでしょう。また、2009年の労働生産性の上昇は、企業活動の規模に対する社員数の少なさを示しているため、これも労働需要を喚起することになるかもしれません。その場合は雇用の伸びにとって良い兆候となるでしょう。発表された1月のISM製造業景気指数も力強い数値となり、景気回復が続いているさらなる兆候といえます。

オバマ大統領の予算教書は、今後10年間にわたって1兆ドル以上の増税を見込むなど、失望するような内容でした。この税制改正には、所得やキャピタルゲイン、配当への増税、海外事業に対する税制措置、業界固有の税金などが含まれる予定です。キャピタルゲインや配当への課税は多くの人々の関心を集めています。オバマ大統領は、キャピタルゲインや配当には20%の税率を掲げていますが、もし最近行った減税措置が撤回されれば、最高税率は39.6%になるでしょう。我々はその中間、おそらく28%程度に落ち着くと考えています。

マーケットに関しては、最近の下落はリスク資産にとって長期の循環的な強気相場の中での調整であるとの見方は変えていません。調整幅は通常範囲内と思われ、おそらく今回の調整はまだ終わっていないと考えています。とは言うものの、グローバル経済や企業収益の回復が続くことを前提に、我々の長期的な強気の見通しにも変化はありません。

BLACKROCK



Bob Doll
ボブ・ドール

ボブ・ドールは、ブラックロックの副会長兼ファンダメンタル株式のグローバル最高運用責任者です。ドールは、ブラックロック大型株シリーズ・ファンドのシニア・ポートフォリオマネジャーです。ドールは、2006年にブラックロックとメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズが統合する前は、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズの社長兼最高運用責任者でした。ブラックロック・グループの2009年12月末時点の運用資産残高は3.35兆ドルです。

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。当資料は、ブラックロック Inc. が作成した資料をブラックロック・ジャパン株式会社が翻訳したものです。

S&P500はThe McGraw-Hill Companies, Inc.の登録商標です。

NASDAQはNASDAQ Stock Market, Inc.の登録商標です。

ウェブサイト www.blackrock.co.jp